



広島陵北ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB HIROSHIMA-RYOHOKU

The Weekly Report

よいことの
ために
手を取りあおう

クラブテーマ

こころゆたかなロータリアン

本年度会長方針

利他の心で喜びを分かち合おう

【2025-26年度テーマ】
フランチェスコ・アレツォ氏

第1575回例会 2026年2月4日No.1550

会長時間



会長 武田龍雄

皆さんこんにちは。広島RC廣谷清様、米山奨学生のグエン・ドウオン・ハイ君、ようこそお越し下さいました。どうぞ、最後までごゆっくりお過ごしください。

本日は、社会福祉法人ひかり会の中山施設長さんに卓話をいただくこととなっております。

中山施設長さんどうぞよろしくお願いします。さて今月2月は、「平和と紛争予防と紛争解決月間」とされておりますが、正月早閃にロータリー発生の地であるアメリカのトランプの指示によるベネズエラ侵攻が行われ、これからは弱肉強食の「ジャングルの法則」が通用する世界に逆戻りするのではないかと懸念されており、紛争のない世界はまだ遠いことのように思います。

また2月は、別名「如月（きさらぎ）」と言われておりますが、その由来は、まだまだ寒さが残る時期であるため、「衣（きぬ）を更に善る」、つまり重ね着を意味する「衣更善（きさらぎ）」から来ているようです。漢字の「如月」は、中国の「2月を如（に）よ」となす」に由来し、「如月」には寒い冬が終わり、春に向かって万物が活動し始める時期を意味します。中国では如月を「従う」という意味の「如」という漢字で表していましたが、日本では同じ字で、読みは日本独自のものです。

また2月だけ28日しかないのも、うるう年に29日に日数が変わるのも、古代ローマで使われていた暦で現在の2月にあたる月が1年の終わりだったためだそうです。現在私たちが使っている暦は、古代ローマの暦がもとになっています。私が生まれた昭和27年もうるう年で、2月29日生まれの子がいました。私は今年で74歳になりますが、彼女はまだ18歳のままで、今年誕生日はないことになりますが、2月29日生まれの者の平年における誕生日は2月28日とみなす旨、「年齢計算に関する法律」に定められています。さて、日本の古来からのカレンダーであります24節気ですが、今月も二つありまして、1番目となります4日の「立春（りつしゅん）」と、2番目となります18日の「雨水（うすい）」があります。「立春」は、冬のピークを過ぎて春の兆しを感じ始める頃のことを言い、「雨水」は降る雪が雨に変わり、雪解けが始まる頃のことを言い、昔から、雨水は農耕を始める時期の目安とされてきました。「立春」の前日は「節分」ですが、これにつきましては、今後の会長時間で詳しく申し上げます。本日の会長時間は、以上とさせていただきます。

2月19日のプログラム

3RC合同夜間例会

3月4日のプログラム

新会員歓迎夜間例会

出席報告 (例会運営委員会)

2月4日出席者

会員総数	46名
出席会員	37名
欠席会員	9名
ご来賓	1名
ご来客	1名
ゲスト	1名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

2月4日出席者

広島RC	1名
米山奨学生 グエン ドゥオン ハイ君	

幹事報告 (平岡栄作)

1.お知らせ

・本日18時30分より「どばし酒場」にて会員研修会を行います。ご出席予定の方はお集まりください。

・次回の例会は2月19日（木）3RC合同夜間例会となります。18時30分よりリーガロイヤルホテル広島にて開催されますのでお間違えのないようご注意ください。なお、17時からリーガロイヤルホテル広島12階会議室にて第3回次年度理事役員会を開催しますので 次年度理事役員会の方はご出席ください。

・2月15日インターシティミーティングのプログラムをご出席予定の方は配布しておりますのでご確認ください。広島コンベンションホールにて13時30分から受付開始です。

・ロータリー日本財団の確定申告用寄付金領収証と米山記念奨学会寄付金領収証を2月会費請求に同封しておりますのでご確認ください。
再発行は出来ませんのでご注意ください。

・2025-26年度 広島14RC合同ゴルフ大会を配布しております。出欠は回覧にてお願いいたします。

・ロータリーの友2月号と本日の卓話資料を配布しておりますのでご確認ください。

金婚式



誕生会員スピーチ



米山奨学金



来賓卓話



広島ひかり園 中山義之様

広島ひかり園は、昭和43年脳性麻痺障がい者の「愛の家」建設運動がきっかけとなり、多くの人々の寄付金、旧佐伯町(廿日市市永原)提供の土地、ボランティアの支援を受け、現在の地に入所授産施設として開園しました。

施設理念の「身体に不自由はあるけれども、明日に希望とはずみが抱け、共同での自立を得ることで社会の一員となる。幅広い体験が人生に蓄積できる場の提供をめざします。」にあるように設立当初からそれぞれの障がいに合わせて利用者様が様々な「仕事」に従事し、社会生活を営んできました。そして、昭和60年4月には定員が80名となりました。

昭和61年には地元の心身障がい者を対象に通所作業の就労促進事業を開設、平成12年には定員15名の通所事業に発展していきました。

その後年月の経過の中、高齢・重度化により介護を必要とする利用者様が増え、介護を中心とする療護施設への一部転用が認められ、平成15年4月には30名定員の身体障がい者入所授産施設と、50名定員の入所療護施設となりました。

平成18年には、障害者自立支援法の施行により、平成22年4月からは昼間は生活介護、夜間は施設入所のサービスを提供する障害者支援施設となり、日中活動を利用される地域の通所者とともに、昼間は主に設立当初から続く工賃を伴う生産活動(軍手やウェスの製作、金具の組み立て作業、草木染商品・入浴パックの作成)や、創作・制作活動、レク活動などに勤しんでいます。

卓話の当日は当時の利用者様の詩も紹介をしながら障がいや、仕事などの生活、利用者様同士の助け合いについて、また近年の高齢化によってもたらされた2次障がい等による現状についてお話ができればと思っています。よろしくお願いします。

ニコニコBOX

SMILE BOX

武田龍雄会員 井上進会員 平岡栄作会員 龍山永明会員

前田啓太郎会員 瀬川長良会員

社会福祉法人ひかり会施設長中山様、ようこそ広島陵北RCへいらっしゃいました。本日の卓話よろしくお願いいたします。

ひかり園施設長中山様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

当日計

28,000円

累計

800,287円